



2021年3月4日
 東日本旅客鉄道株式会社
 JR東日本スタートアップ株式会社
 株式会社 ABAL
 株式会社 NTT ドコモ

JR 東京駅で VR を使った未来の物産展 from 青森を開催 「Hybrid Retail Platform」の実証実験を3月17日から開始

東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下 JR 東日本）、JR 東日本スタートアップ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴田 裕、以下 JR 東日本スタートアップ）、株式会社 ABAL（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：尾小山 良哉、以下 ABAL）および株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊 基之、以下ドコモ）は、2021年3月17日（水）から28日（日）までの期間、東京駅に隣接する「JAPAN RAIL CAFE」にて、VR 技術と 5G を活用した未来の物産展の仕組み「Hybrid Retail Platform」の実証実験を実施します。地方の観光・物産・食を VR 技術で再現することで、移動が制限される状況においても地方の魅力を体験できる新たな観光と小売りビジネスの形を検証します。



< 「未来の物産展 from 青森」の実証実験について >

東京駅で実施する実証実験「未来の物産展 from 青森」は、JR 東日本のターミナル駅という空間、ABAL の ABAL®システム※、そしてドコモの 5G 通信を組み合わせ、青森県の観光・物産・食を VR 技術で体験できる新しい形態の物産展です。

※ ABAL®システムはドコモがパートナーとの協創により提供している 5G パートナーソリューションです。

1. 実証実験の狙い

JR 東日本では、地方創生の一環として各地の物産展を首都圏駅で積極的に取り組んできました。しかし、出店事業者は長距離の移動が必要なため負担が大きく、物理的距離が事業の拡大を阻害していました。

今回の実証実験では、VR と 5G の技術を活用する「未来の物産展」が、物理的距離や出店コストなどの課題を解消し、地方事業者の都心でのビジネス展開をより行いやすくするソリューションであるかを JR 東日本スタートアッププログラムの一環で検証します。

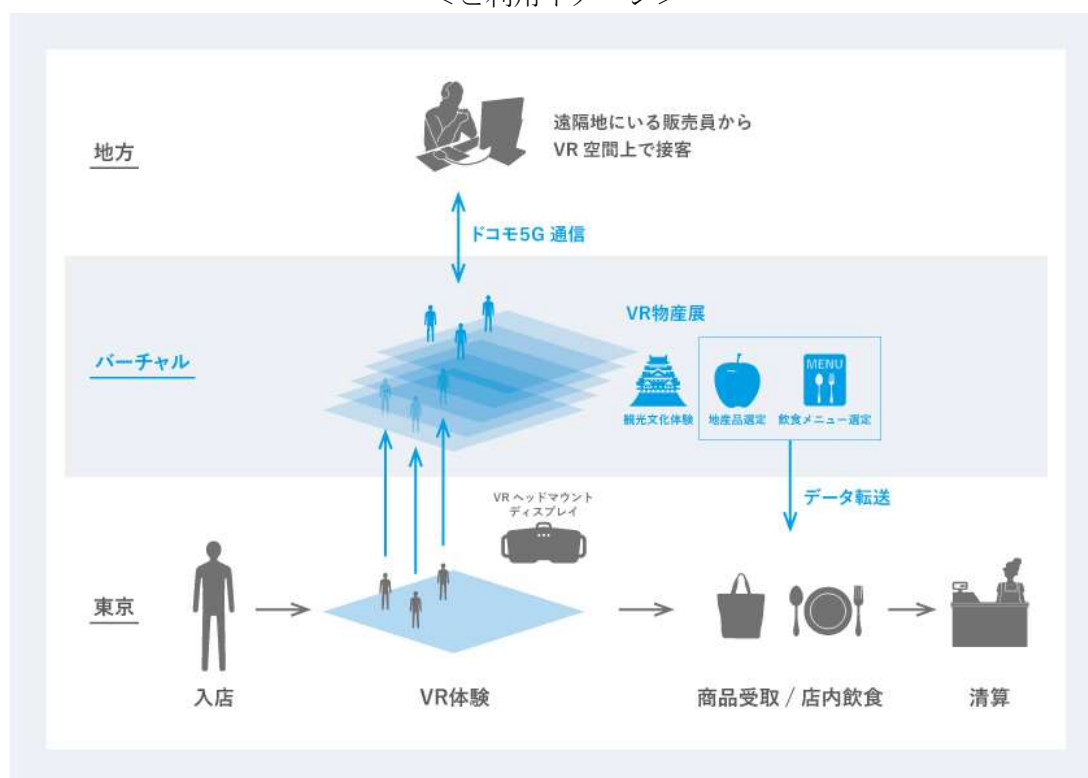
さらに、ドコモとABALが推進する5G通信を利用したXRソリューションのモデルケースという観点からも、その有効性や実用性の確認を行います。

2. 「未来の物産展 from 青森」の概要

「Hybrid Retail Platform」によって、JR 東京駅八重洲中央口外「JAPAN RAIL CAFE」内特設コーナーに、青森県の観光名所を5階建ての建物としてVR空間に再現します。ユーザーは、VRゴーグルを装着することでVR空間内に入り、青森県を旅します。ABALの「多階層空間移動」技術によって、ユーザーはVR内のエレベーターに乗って各フロアに移動し、VRコンテンツを楽しむことができます。フロアは、青森ねぶた祭・弘前城の桜・奥入瀬溪流・岩木山（津軽富士）・A-FACTORY（エーファクトリー：シードル工房）の全部で5種類です。

また、今回の実証実験では青森県の地産品やご当地グルメを購入できるVRショッピングの仕掛けも用意します。VR内で選択した地産品やご当地グルメは、VR体験終了後、「JAPAN RAIL CAFE」内にて決済し、商品を受け取ることや物産展限定メニューの飲食をその場でお楽しみいただくことが可能です。

<ご利用イメージ>



3. 実施概要

開催期間：2021年3月17日（水）～28日（日）

開催時間：午前11時から午後7時

開催場所：JR 東京駅八重洲中央口外「JAPAN RAIL CAFE」内特設コーナー

参加方法：特設コーナーからVRゴーグルを装着（体験は無料、物販・飲食は有料）

主催：東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本スタートアップ株式会社

共催：株式会社ABAL・株式会社NTTドコモ

備考：新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限を行う場合があります。

体験の際はマスクの着用をお願いします。

37.5度以上の発熱、咳など風邪の症状がある方は体験をご遠慮いただきます。

<本実証実験における各社の役割と狙い>

社名	役割・狙い
JR 東日本	<ul style="list-style-type: none">・実施場所の提供・首都圏駅で開催する各地の物産展の出店事業者側の負担軽減策としての有効性や物理的距離の課題解消による物産展事業の拡張性を検証
JR 東日本スタートアップ	<ul style="list-style-type: none">・全体統括、一部コンテンツの提供・次世代の流通小売りビジネスを検証
ABAL	<ul style="list-style-type: none">・VR 基幹システムの提供・次世代の流通小売りビジネスの検証
ドコモ	<ul style="list-style-type: none">・5G 通信環境、一部 VR コンテンツの提供・5G 通信を利用する XR ソリューションを活用した地方創生を推進するための、VR 空間内での接客の有効性および実用性の検証

<Hybrid Retail Platform とは>

Hybrid Retail Platform は、JR 東日本スタートアップと ABAL が共同で開発する、リアル空間とバーチャル空間を掛け合わせて新しい観光・購買・飲食体験を実現する次世代型の流通小売りシステムです。

最先端の VR 技術を有する ABAL が開発した、多階層 VR 空間内にてユーザーが自由な移動や体験の共有をすることができる『ABAL®システム』を基盤にしています。実在する観光地や店舗を VR 空間内に再現します。ユーザーは VR ヘッドセットを使って VR 空間にアクセスすることで、実際に現地を訪れているかのような観光の体験やショッピングが可能となります。また、VR 空間には遠隔地から観光地や店舗のスタッフが 2D ビデオチャット形式で参加可能であり、遠隔にいる人同士のコミュニケーションを実現します。観光地や店舗にとっても、世界観に合った空間表現がしやすく、高度な販促活動が可能となる新しい観光・グルメ・ショッピングサービスです。

<JR 東日本スタートアッププログラムとは>

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年度に初めて開催し、今回までに合計 81 件の提案を採択、鉄道事業や IT 事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取り組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の 2018 年度第 1 回オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞、2020 年度第 3 回同賞において、環境大臣賞を受賞しました。

*「ABAL」は、株式会社 ABAL の登録商標です。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会にお届けしています。